



住みやすい町を目指して…⑬

登山の草分けは山伏？

大蔵院住職 松島 明夫 (城山在住)

私は庶子に在住し、「大蔵院」という修験宗のお寺を守っております。修験宗といいますと、修験道イコール山伏と言うことになります。山伏とは、各地の霊山を修行の場として深山に入り、厳しい修行を行うことにより^{さと}覚りを開くという山岳修行者のことを修験者、または「山に伏すように修行する姿」から山伏と言われています。

さて、最近では富士山も世界遺産に登録され登山ブームのようで、土日曜ともなると新松田駅前には、バスを待つカラフルなウェアを着た山ガールや、たくさんのハイカーで賑わっています。実は、登山と山伏は深い関係があるのです。いや、山伏が登山の草分けでアウトドアマンだったのではないのでしょうか？ 山の中で修行をするため必要最小限の持ち物、食材なども山の恵みを必要としていました。

今の登山アイテムと比べてみましょう。まず頭につけている^{と きん}頭巾は水などを飲む^{すずかけころも}コップ、鈴懸衣や袴は動きやすい登山服、腰に巻いている^{かしのお}螺緒はザイル(ほどくと12m程になる)、

腰から尻に下げている獣の皮は座った時のダニや害虫よけ、ハツ目わらじは登山靴(足がずれない)、金剛杖はストック、法螺貝^{ほらがい}は現代の携帯電話でしょうか？電池切れがないのでいいかもしれませんが、少し大きいです…。山伏はこのような装備でしたので、登山技術にも長けていたと思います。



「火渡り」は護摩の火をもって行われます！

山伏の食材といえば、行者ニンニクではないでしょうか。ヒガンバナ科のネギ属で、味はニンニクとネギを合わせたような感じですが。もう少し詳しく説明しますと、強い殺菌作用で免疫力を高めガンの予防になり、疲労回復や滋養強壮などの効力がある万能の山菜なのです。それもそのはず、ラテン語の学名は「アリウム・ビクトリアリス」、つまりビクトリー⇒勝利という訳です！余談ですが、行者ニンニクでギョウザをつくると、とてもおいしいですよ。

松田も西丹沢の玄関口、登山客がたくさん集まってきます。登山に関連したものを駅前当たりで展開していけば、おもしろい町になるのではないのでしょうか。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下段までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしています！ 第3回定例会は9月3日(水)

委 員	委 員	委 員	委 員	副委員長	委員 長	議 会 広 報 委 員 会
鈴 木	齋 藤	小 澤	利 根 川	石 内	飯 田	
眞 徳	永 啓	啓 司	茂	浩	一	

6月議会では、初めて手話通訳が採用されるなど、議会の改革も進んでいます。「議会だより」では、その全てをお知らせすることが出来ません。ぜひ、議会傍聴にお出かけください。次回は、9月3日(水)に開会する予定です。(小澤)

新しい町長が就任して、一年が経とうとしています。子育て支援や災害対策・福祉業務の充実など、重点施策を執行するため機構改革が進められています。

